令和4年度　下野市地域包括支援センター活動実績

資料2

1. 地域ケア会議

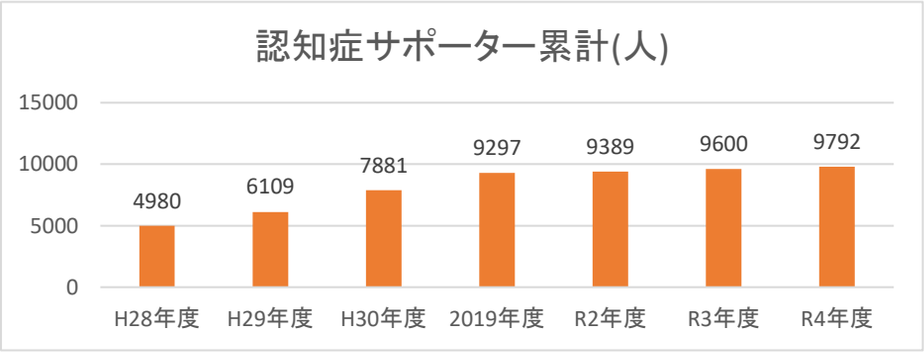
	みなみかわち	こくぶんじ	いしばし	合計
地域ケア個別会議	1	2	0	3
地域ケア推進会議	例年1回開催。 R4年度は対面での開催。 内容：・地域ケア推進会議について（下野市の現状と各事業の取り組み等） ・グループワーク Ⅰ．令和3年度に地域ケア会議(個別ケア会議・自立支援型地域ケア会議)にてあがった地域課題の上位5つから、グループで1つ課題として選定する。 Ⅱ．選択した地域課題を解決するため、グループ討議し具体例をあげる。 Ⅲ．全体で共有 ・地域共生社会に向けた最近の動向（重層的支援体制整備事業）について 解説　つるかめ診療所　副所長 日本社会事業大学専門職大学院　教授　鶴岡 浩樹 医師			
自立支援型地域ケア会議	会議：18回開催 （内1回は振り返り会議） 内容：1回につき2事例を検討、内容によってモニタリング報告も実施　　検討事例　34件、モニタリング　23件			

※R3年度より、自立支援型地域ケア会議は年間18回開催。（各包括6回ずつ、1回に2事例について検討）
地域ケア推進会議をとおして、地域課題や求められる社会資源の抽出ができたものの、施策に反映させるための具体的な取り組みに繋げることに苦慮しており、今後の工夫検討が必要。

2. 認知症総合支援事業

（1）認知症サポーター養成

	みなみかわち		こくぶんじ		いしばし		合同開催		合計	
	開催数	参加者	開催数	参加者	開催数	参加者	開催数	参加者	開催数	参加者
養成講座	8回	200	4回	45	2回	26	0回	0	14回	271



累計9,792人

チームオレンジしもつけ フォローアップ講座	2月2日開催　　39名受講 ・講話「認知症の周辺症状に対する対応について」～介護現場の経験を通して～ 講師：鈴木　裕之　氏　にらがわの郷　部長兼ケアマネジャー ・「チームオレンジ」について ・ほかの地域のチームオレンジの活動についての紹介 ・グループワーク「（わが市での）チームオレンジとしての活動を考えよう」 ・市からの協力依頼「オレンジガーデニングプロジェクトについて」

（2）認知症の容態に応じた適時・適切な医療・介護等の提供

推進委員会		1回　（R5年1月）　認知症対策の実施状況・認知症初期支援集中チームについて等							
地域支援推進委員会		0回　（代わりに、地域包括支援センター連絡会（月1回）内で検討）							
初期集中支援 チーム活動		みなみかわち		こくぶんじ		いしばし		合計	
		会議回数	ケース数	会議回数	ケース数	会議回数	ケース数	会議回数	ケース数
	H30	5回	10（実7）	4回	5（実3）	3回	3（実2）	12回	18（実12）
	R1	5回	14（実9）	5回	6（実2）	6回	8（実6）	16回	28（実17）
	R2	3回	6（実6）	3回	5（実4）	0回	1（実1）	6回	12（実11）
	R3	2回	3(実2)	1回	1(実1)	1回	1(実1)	4回	5(実4)
	R4	2回	0(実0)	2回	3(実1)	2回	5(実3)	6回	8(実4)

※R4年度は、初期集中支援チームのケース数は少なかったが、認知症で対応したケースの報告も実施した。

（3）認知症の方や介護者の支援

	R2				R3				R4			
	開催箇所	延べ 開催回数	実人数	延人数	開催箇所	延べ 開催回数	実人数	延人数	開催箇所	延べ 開催回数	実人数	延人数
家族介護者交流会	1か所	8回	21	83	1か所	7回	20	86	1か所	12回	17	127
認知症カフェ	4か所	14回	54	116	4か所	35回	121	440	4か所	59回	141	766
スペシャルDなつるカフェ									2か所	2回	34	49

※R2・3年度は、新型コロナウイルス感染拡大のため、開催回数が少なくなっている。

（4）啓発活動

- 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、イベント開催(RUN伴、市民講座)を自粛。
- 市広報紙を活用した普及啓発実施
  毎月　:「オレンジカフェ」と「認知症の方を介護している介護者交流会」の案内を掲載
  9月号：知ってみよう、やってみよう、つなげてみようコーナーで、世界アルツハイマーデーの紹介と、認知症に関する相談窓口、認知症家族の会しもつけ、チームオレンジしもつけ、認知症家族交流会、認知症サポーター養成講座について掲載。
  3月号：認知症の相談役である認知症地域支援推進員と具体的な活動、相談窓口について掲載。

※令和4年度から認知症地域支援推進員のワーキンググループを開始し事業の内容や対応等について検討しながら実施した。令和5年度はチームオレンジしもつけメンバーが中心となり、アルツハイマー月間においてオレンジガーデニングプロジェクトを計画している。その他についても、社会資源を利用し周知を継続しながら、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを目指す。

３．在宅医療・介護連携推進事業

	回数・内容等
在宅医療・介護連携推進協議会	1回開催 地域資源情報データベースシステム「カシオAyamu」の導入について ・これまでの経過と今後の予定 ・システムの内容説明（講師：カシオ計算機株式会社　宮下　悟　氏） ・調査票の検討について
市民講演会	市民向け「在宅医療・介護」講座（令和5年3月29日開催） 映画鑑賞＆トークショー　「いのちの停車場」 トークショー参加者（監督　成島出氏、脚本　平松恵美子氏、プロデューサー　冨永理生子氏、太田秀樹医師、鶴岡浩樹医師、トークショー進行・鶴岡優子医師） 市民・医療関係参加者　約150人
終活セミナー	「ミニ終活セミナー」として少人数へ向けた出前講座を開催 ・地域ふれあいサロンへ向け　15回 ・公民館講座　2回
多職種研修会	つるカフェ（小山地区医師会と市の共催） 10回開催（対面＆オンライン） 「コロナピンチを乗り越えて～達人に話を聞こう」「レジリエンスの鍛え方」「在宅医療について」「しもつけケアナビ」等 医療・介護関係者　約300人

ケアマネジャー連絡協議会	令和4年度は、オンライン＋集合型のハイブリットにて研修会を計4回開催 第1回：介護支援専門員・相談支援専門員合同研修会 「障がい福祉サービスから介護保険サービスへの移行について」 参加者78人 第2回：研修会「フレイル予防のための基礎知識～住み慣れた地域でいきいきとした生活を送るために～」 参加者45人 第3回：研修会「居宅介護支援事業所におけるBCP策定」 参加者54人 第4回：研修会「「あすてらす」と「成年後見制度」を知ろう」 参加者56人
啓発活動	・「在宅での療養生活を支えてくれる主な機関について」、令和4年8月号広報へ掲載 ・「エンディングノート」「在宅医療のチラシ」を市の各施設で配布

４．生活支援体制整備事業

	回　数	備　考
市民講演会	1回	1/21「地域づくりと生活支援体制整備事業」講師：林　和美　氏
第１層協議体	2回	
第２層協議体	各地区　月１回開催	
合同連絡会議	月１回開催	メンバー：第1層・2層SC、各包括担当者、高齢福祉課担当者
生活実態把握調査	2自治会にて実施	自治医科大学看護学部と共同で実施
地域ふれあいサロン訪問	59か所実施	第2層SCが訪問し、活動内容や参加人数の把握を行うとともに、地域ふれあいサロンの目的や役割を参加者へ説明し、共通理解を図った。

※住民が主体となって提供する有償ボランティアについて、各地区（旧町単位）で1組織ずつ発足し活動している。

地区全域へサービス提供が難しい地区もあるが、他地区から支援を受けることにより、サービス提供地域の拡大が図ることができている。

※民生委員研修等での説明や、チラシ配布、広報誌への記事掲載など行い、事業内容の周知・啓発を図った。

※現在、地域の社会資源（住民主体の活動やサービス）の情報に加えて、医療機関・介護事業所等の情報を一元的に検索ができる、

「下野市医療・介護・地域資源情報検索サイト」 しもつけケアナビ（略称：Sナビ） を立ち上げる準備を進めている。

本年９月を目標として市民閲覧が可能な情報提供サービスとして展開していく予定である。

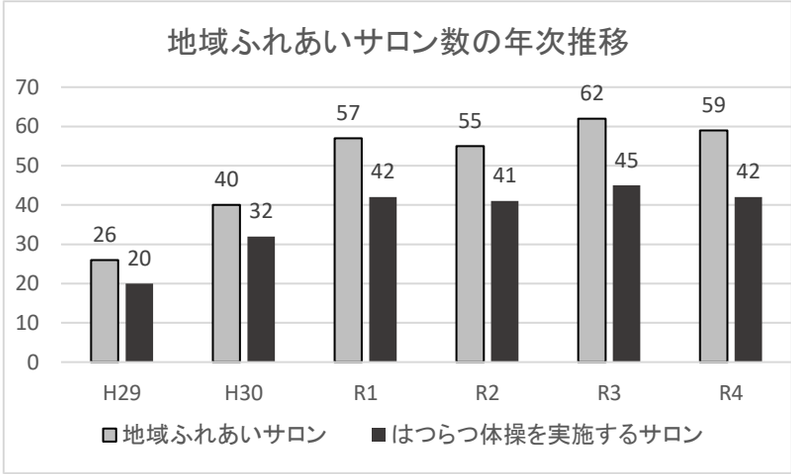
5. 一般介護予防事業　普及啓発事業

（1）元気はつらつ体操

		みなみかわち	こくぶんじ	いしばし	合計
元気はつらつ体操実施サロン	～R3開始サロン数	21	11	13	45
	R4～新規サロン数	1	0	0	1
	合計	22	11	13	46

地域ふれあいサロン数の年次推移（各年度末時点）

	H29	H30	R1	R2	R3	R4
地域ふれあいサロン	26	40	57	55	62	59
はつらつ体操を実施するサロン	20	32	42	41	45	42

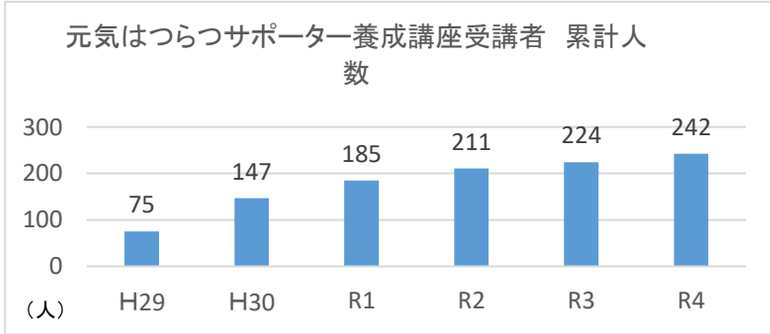


		みなみかわち	こくぶんじ	いしばし	合計
元気はつらつ体操サポーター養成	R4養成講座参加者数	7	7	4	18
	R4ﾌｫﾛｰｱｯﾌﾟ講座参加者数	11	12	7	30

※R2～養成講座：サロン参加者の希望者に対象者を絞って実施

元気はつらつ体操サポーター養成講座受講者　累計人数

	H29	H30	R1	R2	R3	R4
年度参加人数	36	72	38	26	13	18
累計人数	75	147	185	211	224	242



（2）地域リハビリテーション活動支援事業

通いの場での健康教育の講話時の支援

職種	みなみかわち	こくぶんじ	いしばし	合計
リハビリテーション専門職	7	12	5	24
薬剤師	1	2	2	5
管理栄養士	12	13	6	31
歯科衛生士	11	13	5	29
合計	31	40	18	89

※専門職の講話時に、地域包括支援センター職員が同席し、その後の継続した支援につなげた。

（3）高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施（R3年度～新規事業。後期高齢者医療広域連合より受託。担当課は市民課・健康増進課・高齢福祉課）

	内容等		人数・回数等
ハイリスクアプローチ	健康状態不明な高齢者の状態把握	R3年度に健診・医療・介護のデータがない高齢者に対して、アンケートを行い、その後包括職員が訪問や電話にて個別支援を行った。	対象者99人 支援実施89人
ポピュレーションアプローチ	①通いの場での健康教室・健康相談	健康教育を受講により、フレイルについて知り、自分の健康状態を確認して予防につなげるため、1日目（フレイルについて・社会参加編）2日目（栄養編）3日目（口腔機能編）4日目（運動編）の4日間を1コースとして実施した。	23か所 参加者　延べ1,090人
	②フレイル状態の把握	①の終了時と3か月後に参加者に「後期高齢者の質問票」の記入を行い、該当項目が多かった方に対しては、後日包括職員による個別支援を行った。	対象者16人 支援実施16人
	③気軽に相談できる環境づくり	包括職員が通いの場へ出向き、健康等に関する相談ができる機会を作った。	43か所

※R5年度は、R4年度に申し込みのなかった地域ふれあいサロンに向けて実施できるよう、受講勧奨・周知方法等を工夫する。

（4）各種事業

	みなみかわち		こくぶんじ		いしばし		合計	
	開催数	参加者	開催数	参加者	開催数	参加者	開催数	参加者
介護予防事業	12	156	57	660	31	437	100	1,253
しもつけ元気はつらつ体操支援	7	98	2	21	6	75	15	194
地域ふれあいサロン支援	6	61	12	151	6	136	24	348
ふれあいサロン支援	1	10	0	0	1	22	2	32
その他事業	0	0	9	165	0	0	9	165
介護教室「ほっと介護教室」	3月23日（木）災害時わたしたちができること～災害時の高齢者生活支援学習会～ 講師：日本赤十字社　栃木支部 参加者：14名							
家族介護者継続支援事業 「家族交流会」	新型コロナウイルス感染拡大により中止。							

６．研修参加

		みなみかわち	こくぶんじ	いしばし	合計
研修内容	権利擁護	4	3	1	8
	包括ケア関係	9	11	11	31
	介護予防	4	5	0	9
	ケアマネジャー	0	4	2	6
	その他	5	9	1	15
	合計	22	32	15	69